

平成23年5月13日
警 察 庁

被災地等における犯罪情勢

被災地においては、空き巣や出店荒らし等の窃盗が相当数発生しており（注1）、震災に便乗した犯罪は被災地以外も含めた全国各地で発生している（注2）。また、国民の不安をいたずらにあおる流言飛語がインターネット上等で流布している（注3）。

今回の震災の被災者は、心身ともにストレスの強い環境に置かれ、非常に強い不安感を抱いていることから、復興に当たっては、このような被災者の心理に配慮し、不安感を鎮めることが大きな課題となっている。

（注1）被災3県における刑法犯認知状況（平成23年3月及び4月）

	H23. 3・4	H22. 3・4	前年同期比
刑法犯認知総数	6,602	8,055	- 1,453 (- 18.0%)
凶悪犯	36	46	- 10 (- 21.7%)
粗暴犯	228	291	- 63 (- 21.6%)
窃盗犯	5,356	6,130	- 774 (- 12.6%)
侵入盗	1,095	915	+ 180 (+ 19.7%)
乗り物盗	1,661	1,804	- 143 (- 7.9%)
非侵入盗	2,600	3,411	- 811 (- 23.8%)
知能犯	145	315	- 170 (- 54.0%)
風俗犯	27	53	- 26 (- 49.1%)
その他	810	1,220	- 410 (- 33.6%)

※ 警察署の被災や現場対応等により入力が遅れている可能性がある。

※ 本資料の数値は暫定値である。

特異な事例

- 空き巣 454件（前年同期比 +172件）
- 出店荒し 244件（前年同期比 +118件）

（注2）震災便乗犯罪

- 義援金等名目の詐欺
5月6日までに全国で26件を認知、このうち9件を検挙。
 - ・ 被災者への寄付名目の貴金属詐欺事件（3月19日、福岡県警において1名を通常逮捕）
 - ・ 被災者をかたる振り込め詐欺事件（4月6日、長野県警において1名を通常逮捕）
- 悪質商法の検挙事例
 - ・ 震災廃棄物の無許可収集・運搬事案（3月26日、福島県警において1名を通常逮捕）
 - ・ 放射性物質の体外排泄効果をうたった無許可医薬品販売事案（4月5日、警視庁において2名を通常逮捕）

（注3）警察による震災に関する流言飛語等への対応状況

インターネット上の流言飛語等について、3月15日から4月20日までに、サイト管理者等に対し、表現の自由を尊重しつつ自主的に適切な措置を採ることを求める要請を41件実施（うち13件について削除を確認済み）。